

2024年

第69回

ベルリン国際映画祭パノラマ部門  
国際批評家連盟賞受賞

12月19日(木) 茅ヶ崎市民文化会館小ホール

上映: ①10:30 ②14:00 ③19:00

開場各回 30分前

前売: 一般 1000円 ハンデ 800円

(当日各 200円増)高校生以下無料

〈プレイガイド〉

茅ヶ崎市民文化会館

長谷川書店(茅ヶ崎駅北口・南口)

あなたとなら、信じられる。  
世界はやさしさに満ちている、と。

ある朝、突然母が逝った。

残ったのは悲観論者の父と、日々の暮らしを愛する娘。

この悲しみ、ふたりならきつと乗り越えられる…。

ベルリンを温かく包み込んだ、

イタリあのちいさな家族の物語。

# わたしは ダフネ

dafne

茅ヶ崎良い映画を観る会第 433 回特別例会

主催: 茅ヶ崎良い映画を観る会 後援: 茅ヶ崎市 / (公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

Written And Directed By Federico Bondi Story Federico Bondi Screenplay Rodolfo Produced By Maria Daniela And Gregorio Pavesio Cinematography Piero Basso Editing Stefano Craveri Music Samuele Lanza Sound Engineering Mirko Guerra  
Production Design Alessandra Motta Camera Didi Zanni Costume Massimo Cerrito Props Cristina Amadio Casting Micaela Malinconico And How Sam Marina Lombardi Daniela Tassinari  
Executive Producer Alberto Lanzetta Producer Serena Alessi Line Producer Gian Luca Chianelli Massimo Milei Executive Director Cecilia Cattaneo Screenplay Rita Simonini Assistant Director Vincenzo Trovati  
Cinematography Vito Tedeschi Laura Bolognini Casting Francesca Bertorello Sound Editing And Sound Mixing Daniela Bazzani Maria Carli Stefano Grossi Giancarlo Rottigiani A Vito Film With Rai Cinema  
Production In Collaboration With Cinema Uno Cinema2 Supported By Ministero Per I Beni E Le Attività Culturali - Direzione Generale Cinema Realized As Part Of Programma Sesti Cinemateorizzonti - Toscana Per Il Cinema  
With The Support Of Regione Lazio Roma Lazio Film Commission And Utilizing Firenze Coop Alleanza 3.0 With The Sponsorship Of Agip - Associazione Italiana Persone Down Syndrome Italiani Online - Fratelli E Sorlle Di Firenze Con Disabled World Sales Rai Cinema

問合せ: 福田 0467-86-8038 木村 0467-83-7744 山本 090-5408-4041

監督・脚本: フェデリコ・ボンディ 出演: カセリーナ・ラズバンテ、アントニオ・ボイヴォネリ、ステファニア・ネッシーニ

2019年/イタリア/107分/19歳以上/カラー/デジタル/原題: DAFNE 字幕翻訳: 朝日英子 配給: ゼストフィルムズ 後援: 公益財団法人日本ダウン症協会 © 2019, Vito Film - tutti i diritti riservati

[www.zestofilms.com/dafne/](http://www.zestofilms.com/dafne/)



ダフネが教えてくれる。大事なものは、自分を好きになること。人を信じること。

ダフネは快活で社交的なダウン症の女性。スーパーで働きながら、母マリア、父ルイジと平穏に暮らしていた。しかしマリアに突然の死が訪れ生活が一変。年老いたルイジは自分が死んだら娘が独り残されてしまう、と不安に苛まれてふさぎ込んでしまう。ある日、ダフネは、母の生まれた村を訪れてみようという父に提案。その旅は、愛する人の死を乗り越え、お互いを理解し合うための、かけがえのないものになっていく…。

ベルリン国際映画祭公式上映後、満場の拍手！

ダフネ役 カロリーナが観客を魅了！

監督はデビュー作『Mar nero』（'08）がロカルノ国際映画祭で3部門を受賞したフェデリコ・ボンディ。長編第2作にあたる本作はベルリン国際映画祭パノラマ部門に出品され国際批評家連盟賞を受賞。主演ダフネに扮するのは、監督がSNS上で見出したカロリーナ・ラスパンティ。自伝を出版するなど創作活動はしていたものの、女優には初挑戦。チャーミングでシニカルなその自然体の演技に、観客は瞬く間に魅了された。



静謐な風景の中を往く、父と娘。軽やかなユーモアに彩られた、トスカーナの旅。

母の生まれた村を訪ねるため、ダフネと父はトスカーナへ向かう。宿屋の夫婦、若い森林警備隊員たち…、ちいさな出会いと別れを繰り返しながら、その旅は愛する家族の死を乗り越え、互いを理解し合う、かけがえのないものになっていく…。

ささやかな日常にこそ真実があり、与え合い赦し合うことが幸せへの道なのだと教えてくれる、新たなる珠玉のイタリア映画が誕生した。

## 【STAFF】

監督・脚本：フェデリコ・ボンディ

原案：フェデリコ・ボンディ、シモーナ・バルダンジ

エグゼクティブ・プロデューサー：アレッシオ・ラザレスキー

プロデューサー：マルタ・ドンゼリ、グレゴリオ・パオネッサ

撮影：ピエロ・バッソ

編集：ステファノ・クラヴェロ

音楽：サヴェリオ・ランツァ

衣装：マッシモ・カンティーニ・パリーニ



## 【CAST】

ダフネ：カロリーナ・ラスパンティ

ルイジ：アントニオ・ピオヴァネッリ

マリア：ステファニア・カッシーニ

ヴィオラ：アンジェラ・マグニ

ジャック：ガブリエレ・スピネッリ

カミーラ：フランチェスカ・ラビ



2019年／イタリア／イタリア語／94分／カラー／シネマスコープ

原題：DAFNE 字幕翻訳：関口英子

配給：ザジフィルムズ 後援：公益財団法人日本ダウン症協会

(c) 2019, Vivo film - tutti i diritti riservati